



使用上の注意

Fiery Color Profiler Suite、v5.5.1.30

本書には、このリリースに関する重要な情報が含まれています。インストールを進める前に、すべてのユーザーにこの情報を提供するようにしてください。

メモ：本書では、「Color Profiler Suite」という表記は Fiery Color Profiler Suite を指します。

Color Profiler Suite の以前のバージョン、ソフトウェアメンテナンスおよびサポート契約 (SMSA) をご利用の場合、Fiery Software Manager から新しいバージョンが通知され、アップグレードすることができます。SMSA が期限切れの場合、通知されませんが、Fiery Software Manager を（ヘルプ>アップデートを確認をメインウィンドウで選択して）実行し、SMSA を更新してから、アップグレードすることができます。

Fiery XF または Fiery proServer ユーザーが Fiery XF サーバー 7.0 以降、Color Profiler Option、有効な SMSA を使用している場合、ユーザーには Color Profiler Suite のアップデートまたはアップグレードを行う権限があります。使用可能なアップデートは、Fiery Software Manager または Fiery Command WorkStation のアプリおよびリソーススクリーンに表示されます。ユーザーは、Fiery XFSMSA 状況を Fiery XF のライセンスマネージャで確認できます。

本バージョンの新機能

Fiery Color Profiler Suite のこのバージョンには、新機能が導入されています。

64 ビットアプリケーション：Fiery Color Profiler Suite v5.5.1.30 (CPS) は、Mac および Windows プラットフォームの双方でネイティブの 64 ビットアプリケーションです。CPS v5.5.1.30 では、32 ビットオペレーティングシステムはサポートされていません。Fiery Software Manager が 32 ビットオペレーティングシステム (Windows 7 32 ビットなど) ですでに実行されている場合、CPS v5.5.1.30 パッケージのアップデート通知は表示されません。32 ビットオペレーティングシステムに Fiery Software Manager をインストールしようとする時、互換性のエラーが表示され、インストールがキャンセルされます。サポートされるオペレーティングシステムの一覧については、[システム要件](#) (2 ページ) を参照してください。

メモ：Fiery Color Profiler Suite のこのバージョンには、新しいライセンスと有効なソフトウェアメンテナンスおよびサポート契約 (SMSA) を必要とする v5.5 が必要です。現在、バージョン 5.x または 4.x を実行していて SMSA が最新の場合、Fiery Color Profiler Suite は Fiery ライセンスサーバーから最新のライセンスを自動的にダウンロードします。Fiery Color Profiler Suite SMSA を更新する場合は、Fiery 販売店に SMSA 更新パーツ番号「100000006105」を伝えてください。Fiery Color Profiler Suite 4.x の所有者は、バージョン 4.x から SMSA1 年分を含む 5.x の最新バージョンへのアップグレードを購入することもできます。その場合は、Fiery 販売店にパーツ番号 3000013448 (デジタル配達) または 3000013280 (物理的な配達) を伝えてください。



メモ：Fiery Command WorkStation、Fiery Command WorkStation 6.8 以降からの Fiery Color Profiler Suite 起動ポイントを推奨します (Fiery Command WorkStation 6.5 以降がサポート対象)。旧バージョン Fiery Command WorkStation の起動ポイントでは、Fiery Color Profiler Suite 5.5.1.30 モジュールは起動しません。

- これまでより少ない反復回数で、G7 グレースケールキャリブレーションパスの結果をより早く得られます。
- インライン測定器用の G7 グレースケールキャリブレーションを完全自動化しました。
- Fiery Edge Exclusive v2 (1902 パッチ) のパッチレイアウトをサポートし、4028 パッチセットに近い精度を提供できるようにしました。
- Fiery Verify は、測定モードを含め、すべての検証情報を 1 つのラベルにまとめます。
- Fiery Verify では、Fiery XF および Fiery proServer ワークフロー内で、検証ウェッジの再測定が可能になりました。
- 物理的な測定器やライセンスを必要としない新しいフルデモモードで、シミュレーションした測定データを使用して Fiery Color Profiler Suite 機能や Fiery の統合を体験できるようになりました。
- Konica Minolta の IQ-501 測定器で使用する検証プリセットの編集に対応しました。
- Fiery Color Profiler Suite v5.5.1 のさまざまな問題が修正されました。

システム要件

Fiery Color Profiler Suite を実行するには、使用している Windows または Mac コンピューターが次の最低要件を満たしている必要があります。

メモ：Fiery Color Profiler Suite v5.5.1.30 は、64 ビットオペレーティングシステムのみをサポートしています。

Windows	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 11 (64 ビットのみ) • Windows 10 (64 ビットのみ) • Windows Server 2022 (64 ビットのみ)
macOS	<ul style="list-style-type: none"> • macOS 13 (M1 および M2 ネイティブサポート) • macOS 12 • macOS 11 • macOS Catalina 10.15

設定	<ul style="list-style-type: none"> • 4GB の RAM (最小) と 8GB 以上の RAM が推奨 • アプリケーションに使用できる 3GB の HDD の空き領域 • 最小 CPU : <ul style="list-style-type: none"> • Intel® Core™ i5 プロセッサ以上 • AMD Ryzen™5 プロセッサ以上 • 次の推奨解像度で 16 ビットカラーをサポートするモニター : <ul style="list-style-type: none"> • 最小解像度 : <ul style="list-style-type: none"> • Windows : 1024x768 • macOS : 1024x800 • 最高解像度 : <ul style="list-style-type: none"> • Windows : 2560x1600 • macOS : 2560x1600 • Fiery Verify モジュールには 1280x1024 のモニター解像度が必要 • サウンドカード推奨 • EFI 分光測色計用の USB 2.0 ポート (電力供給対応) ×1。他の測定器に必要な追加ポート <p>メモ: EFI 分光測色計は、ほとんどのキーボードの USB ポートまたは電力供給未対応の USB ハブに接続しても動作しません。EFI 分光測色計と接続ケーブルは Fiery Color Profiler Suite に付属しています。</p>
プリンター	すべての RGB、CMYK、CMYK+X のカラープリンター

5.5.1.30 で修正された問題

日本語の文字でプリンタープロファイルを保存すると、エラーメッセージが表示される

Fiery Printer Profiler でプリンタープロファイルを保存しようとしたときに、キャリブレーションセットに日本語の文字が含まれていると、エラーメッセージが表示されていました。

RGB EPL ファイルを印刷しようとする、Fiery XF にプロファイルのエラーが表示される

Fiery XF Color Tools で Epson プリンター用に作成した RGB EPL ファイルとプロファイルを使用してジョブを印刷しようとする、Fiery Command WorkStation でエラーが発生していました。

Canon imagePRESS Server D3000 v1.0 のデモモードで実行する 1 ステップカラー管理機能

Fiery Color Profiler Suite をデモモードで実施中に Canon imagePRESS Server D3000 v1.0 の関連トレイから 1 ステップカラー管理を選択すると、1 ステップカラー管理機能もデモモードで実施されていました。

Fiery Printer Profiler をデモモードで実施中にデモプロファイルまたはサンプルプロファイルが作成されなかった

Fiery XF server 上で Fiery Printer Profiler をデモモードで実行していた場合でも、ロックされていないプロファイルを作成していました。

5.5.1.30 の既知の問題

Xerox® EX-P 5 Print Server Powered by Fiery®バージョン 2.1 で、CMYK キャリブレーションセットとプロファイルを追加して作成できない

Xerox® EX-P 5 Print Server Powered by Fiery®バージョン 2.1 の環境設定で CMYK+測定データから追加の CMYK キャリブレーションセットとプロファイルを作成チェックボックスを選択して CMYK+プリンタープロファイルを作成しようとしても、追加の CMYK キャリブレーションセットとプロファイルが作成されません。

X-Rite iO 測定器を macOS に接続している場合

macOS Monterey 12.4 のコンピューターに接続されている場合、X-Rite iLiO/iLiO2 および iLiO3/iLiO3+は検出されません。この問題を回避するには、macOS Monterey 12.5 以降をインストールします。

G7 P2P25Xa パッチセットを測定すると、スキャンエラーが発生する可能性

Fiery Verify では、公式パッチレイアウトの最後のパッチを越える G7 P2P25Xa ストリップを測定すると、不完全なストリップスキャンエラーが表示されます。

モニターの解像度拡大縮小

モニター解像度を Windows システムで拡大縮小すると、Fiery Color Profiler Suite にエラーが表示されます。

特殊文字を含むジョブ名

特殊文字を含むジョブ名は、Fiery Verify では読むことができません。

Apple MacBook Pro に接続している Konica Minolta MYIRO-1 および MYIRO-9 測定器

macOS 11 を搭載した Apple MacBook Pro (13 インチ、M1、2020) に USB 接続 (C タイプコネクタ) している場合、Konica Minolta MYIRO-1 および MYIRO-9 測定器は検出されません。

プロファイリングに ES-6000 を使用する

Fiery Color Profiler Suite が Fiery server にインストールされている場合、ネットワーク接続された ES-6000 をプロファイリングに使用することはできません。

Techkon SpectroDens を使用してパッチを測定する

Techkon SpectroDens 測定器を使用してパッチレイアウトチャートを測定すると、両方向で測定された場合、降順の測定値が反映されます。チャートパッチは左から右方向にのみ測定することをお勧めします。

KM MYIRO-1 拡大パッチ設定

KM MYIRO-1 拡大パッチ設定は、プレビューペインに反映されるまで時間がかかります。

Fiery XF ワークフローでの Barberi Spectro パッドまたは LFP qb 検証ストリップの測定

Fiery XF ワークフローの検証ストリップで UI の接続設定を指定する条項が Fiery Verify がないため、Barberi Spectro パッドまたは LFP qb 検証ストリップをイーサネットまたは Wi-Fi 接続モードで測定することはできません。

テスト印刷フッター情報

Fiery Device Linker でのクライアントオペレーティングシステムの言語に関係なく、テスト印刷フッター情報が英語で表示されます。

X-Rite i1Pro3 Plus を使用してパッチを測定する

X-Rite i1Pro3 Plus を使用して FieryMeasure で測定値を読み取り、コンピューターがスリープモードに入ると、測定を続行できなくなります。パッチを測定する前に、デスクトップコンピューターシステムでスリープモードを無効にすることをお勧めします。

測定器

キャリブレーション計器ウィンドウが応答停止する

Fiery Printer Profiler モジュールで PDF で保存オプションを選択し、ES-2000、ES-3000、X-Rite i1Pro 2 または X-Rite i1 Pro3 携帯型分光測色計に接続している場合、測定器のキャリブレーション中に次へをクリックすると、ウィンドウが反応しなくなることがあります。

(mac OS) ライセンス取得済みの計器で Color Profiler Suite がデモモードのままになる

Mac コンピューターでライセンス取得済みの測定器を接続した状態で、Color Profiler Suite を完全なライセンスモードで起動し、ライセンスがない別の測定器を接続したうえでライセンス取得済みの測定器を取り外すと、Color Profiler Suite がデモモードに入ります。その後、ライセンス取得済み測定器を接続し直しても、Color Profiler Suite はデモモードのままになります。完全なライセンスモードに戻るには、Color Profiler Suite を再起動する必要があります。

Fiery Printer Profiler

Barbieri Spectro LFP qb Color Tools の設定が共有されない

Fiery XF server で Barbieri Spectro LFP qb 測定器を使用する場合、Color Tools ワークフローの設定は Fiery Color Profiler Suite の Fiery Printer Profiler モジュールと共有されません。

キャリブレーションマネージャーでの G7 濃度ベースのキャリブレーションターゲットの表示

Fiery Color Profiler Suite がインストールされてライセンスされている場合は、キャリブレーターで G7 キャリブレーションを作成することもできます。G7 キャリブレーションでは、G7 グレーバランスに到達するためにトランスファー曲線が Fiery サーバーのキャリブレーションターゲットに適用されます。キャリブレーションマネージャーは、G7 NPDC 補正曲線が適用されたキャリブレーションターゲットではなく、元のキャリブレーションターゲットを表示します。

iGen5 で作成された拡張色域プロファイルでアーチファクトが発生する

iGen5 で CMYK+O、CMYK+G または CMYK+B 色空間を作成し、不適切なアーチファクトが画像に見られる場合、PDF ワークフローで新しいプロファイルを作成し、Fiery Edge 最新エンジンを使用してください。

Fiery サーバーの接続

Fiery Printer Profiler が Fiery サーバーに対して印刷または保存を行っている途中で Fiery サーバーとの接続が遮断された場合、予期しない結果が生じる可能性があります。

新しいキャリブレーションセットとプロファイルの作成時に仮想プリンターを作成する

新しいキャリブレーションセットとプロファイルを作成する場合、仮想プリンターを作成するときに、プロファイル名に 2 バイト文字を含めることはできません。

追加情報

IDEAlliance ISO 12647-7 Control Wedge 2013 または Ugra/Fogra-MediaWedge V3.0a での測定

Fiery Verify で、パッチレイアウトチャートを EFI ES-1000、EFI ES-2000、Konica Minolta FD-5BT、EFI ES-3000 のいずれかを使用して測定する場合（ルーラーなしで測定オプションを選択）、IDEAlliance ISO 12647-7 Control Wedge 2013 または Ugra/Fogra-MediaWedge V3.0a 用紙ウェッジを左から右に測定する必要があります。用紙ウェッジを右から左に測定すると、緑色のチェックマークなしの赤色の警告メッセージが表示され、測定が正しく行われなかったことを知らせます。緑色のチェックマークの欠如と警告を無視することを選択すると、測定値が逆順で記録されます。